

NOMURA

2023年10月期 第1四半期 決算説明資料

のむら産業株式会社 証券コード 7131

売上高

1,346百万円

前年同期比：＋16.4%

営業利益

57百万円

前年同期比：＋90.2%

経常利益

60百万円

前年同期比：＋99.6%

前年同期比増収・増益。通期業績達成に向け良好なスタート

包装機械の好調な販売、包装資材、物流梱包の堅調な販売が全社業績に寄与。また、原価高騰の影響を抑えるため、様々なコストダウンに注力した結果、利益は社内計画以上に確保。

主力の包装関連事業：増収・増益を達成。

包装資材 家庭用が堅調に推移したことに加え、ウィズコロナの浸透による外食産業での需要を的確に捉え、業務用が回復。

包装機械 部品供給の停滞も徐々に改善され、受注状況も上向き傾向。

物流梱包事業：社内計画通りに推移。

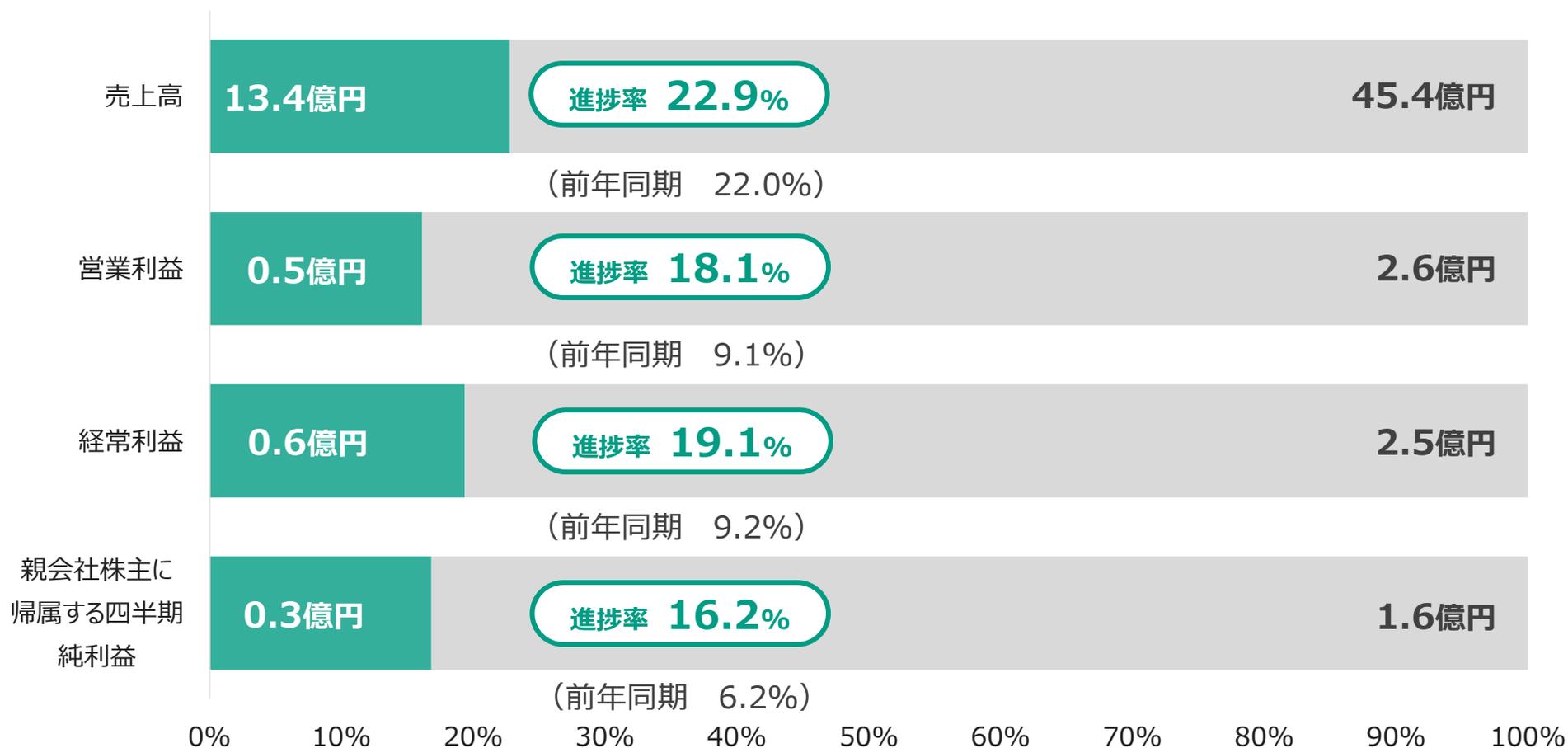
人件費の増加等の影響で減益となるものの、計画通りの売上、利益進捗。

前年同期比16.4%増収。
増収効果が寄与し、段階利益、利益率が上昇。

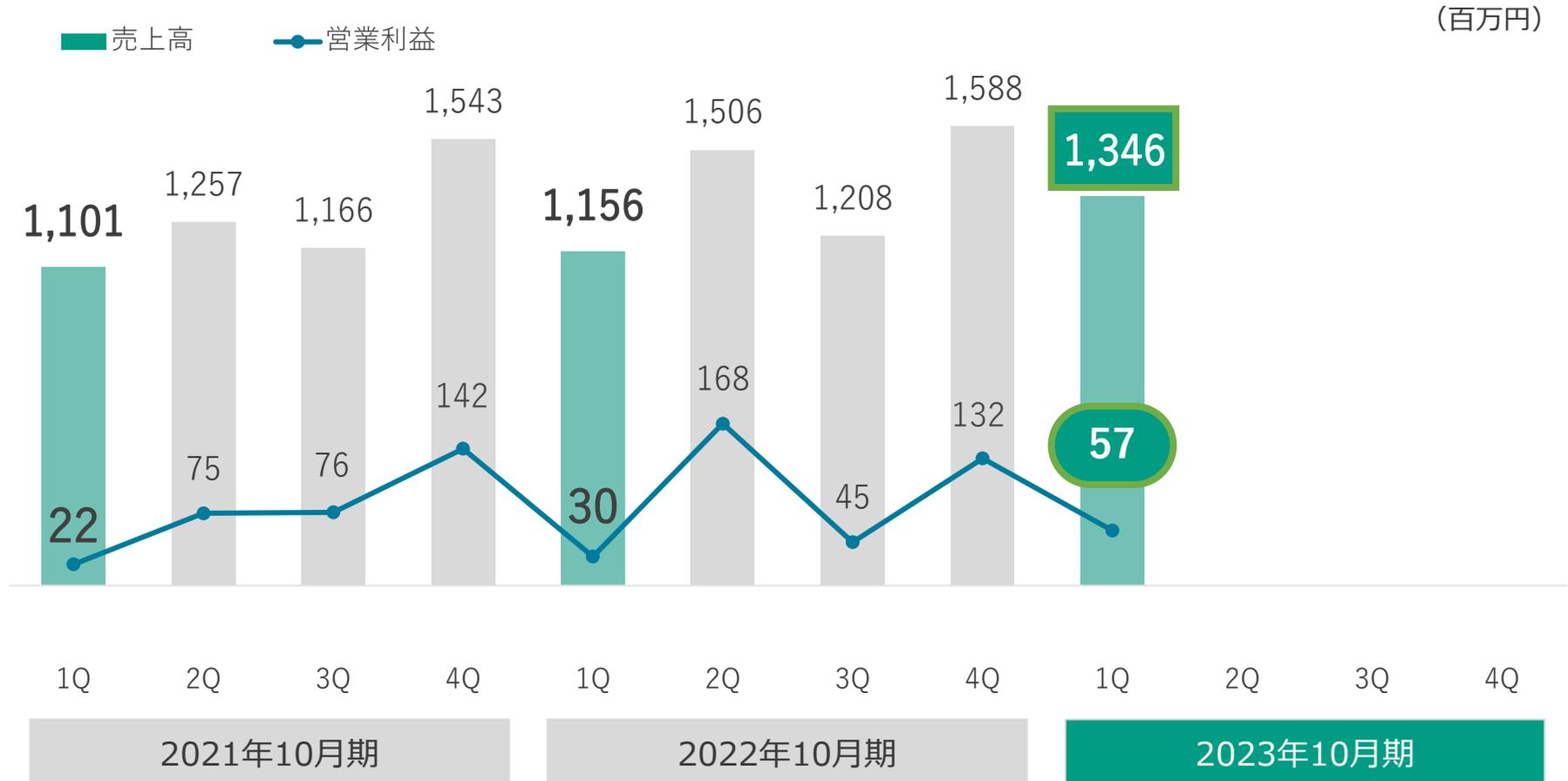
単位：百万円	22/10期 第1四半期		23/10期 第1四半期		前年同期比	
	実績	売上比率	実績	売上比率	増減額	増減率
売上高	1,156	—	1,346	—	+190	+16.4%
売上総利益	281	24.3%	323	24.0%	+41	+14.7%
営業利益	30	2.6%	57	4.3%	+27	+90.2%
経常利益	30	2.6%	60	4.5%	+30	+99.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	12	1.1%	32	2.4%	+19	+151.3%

売上高、各段階利益の進捗率は、前年同期よりも良好に推移。

■ 1Q実績 ■ 通期予想-実績



第1四半期期間比較では売上、利益とも着実に成長



人件費増加等の影響を受け、物流梱包は前年同期比で0.1億円減益も、包装関連事業で計画以上の利益を確保し、グループ全体では前年同期比で増収・増益となる。

(単位：百万円)		22/10期 第1四半期	23/10期 第1四半期	前年同期比	
		実績	実績	増減額	増減率
売上高	包装関連事業	952	1,128	+176	+18.5%
	物流梱包事業	203	218	+14	+6.9%
	調整額	-	-	-	-
	合計	1,156	1,346	+190	+16.4%
営業利益	包装関連事業	14	53	+39	+284.2%
	物流梱包事業	16	3	▲12	▲76.7%
	合計	30	57	+27	+90.2%

※セグメント別の営業利益は、のれん償却費及び販管費等の配賦等を調整したセグメント利益を記載しております。

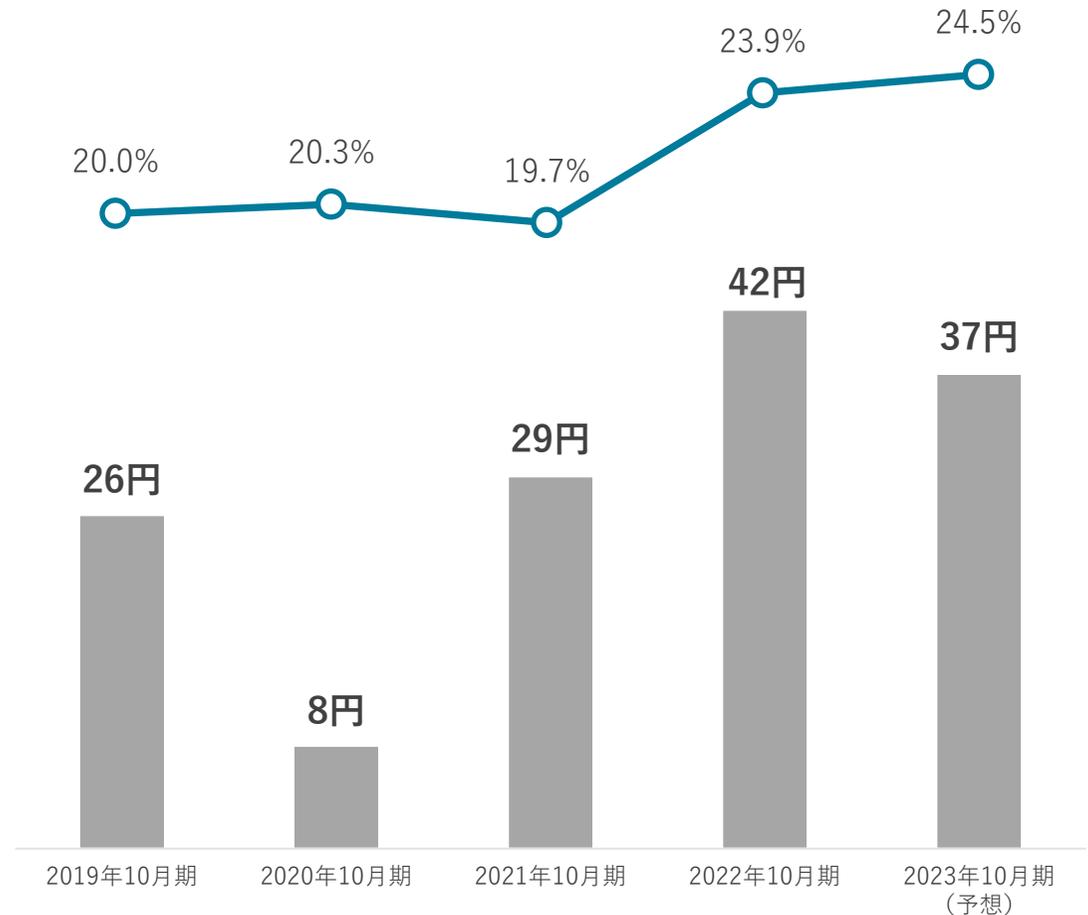
(単位：百万円)	22/10期 期末	23/10期 1Q	増減額	主な増減要因
総資産	3,633	3,394	▲238	主に現預金、受取手形、売掛金及び契約資産の減少
負債	2,241	2,022	▲219	主に仕入債務の支払い、未払法人税等の納付
純資産	1,392	1,372	▲19	主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上の一方、株主配当による利益剰余金の減少

基本方針

事業拡大に必要な内部留保との
バランスを図りながら安定的かつ
継続的な配当を実施

連結配当性向目標

期末配当金 **25%程度**



※2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、1株当たりの年間配当金につきましては当該株式分割後の配当額を記載しております。

- 本資料は、のむら産業(株)の業績動向及び事業内容について、のむら産業(株)による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。
- これらの将来の展望に関する表明の中には、様々なりスクや不確実性が内在します。様々な要因により、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- のむら産業(株)の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来の展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料開示時点において利用可能な情報に基づいてのむら産業(株)によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

のむら産業株式会社 管理部

TEL : 042-497-6191

Web : <https://www.nomurasangyo.co.jp/>

Mail : ir@nomurasangyo.co.jp